



VISION BOOK

公立大学法人
北九州市立大学

北九州の地に誕生し、開拓者精神で、 希望に満ちた未来をつくりだす北九州市立大学

北九州市立大学は、昭和 21 年、戦後社会の復興と来たるべき国際社会への対応から、旧小倉市により小倉外事専門学校として創立されました。

同 25 年、北九州外国語大学に昇格し、その 3 年後には、名称を旧小倉市立「北九州大学」に改称しました。

東アジアに位置する学術研究・教育の拠点として「自主的で開拓者精神に満ちた個性豊かな社会人の育成」を基本理念とし、約半世紀の間に、北九州の地域にしっかりと根ざしながら、大学院を有する文科系の総合大学にまで発展してきました。

その後、平成 13 年に北九州市が進める北九州学術研究都市の中核的機関として理工系学部を設置し、大学名を北九州市立大学に改称、平成 17 年には地方独立行政法人に移行し、「公立大学法人北九州市立大学」となりました。現在、文系理工系 5 学部 1 学群 4 研究科、「北方」と「ひびきの」の 2 つのキャンパスに約 6500 人の学生を擁する総合大学へと発展し、地域に密着した公立大学としてその使命を果たしています。(※)

その間、社会や大学を取り巻く状況は大きく変化しています。環境問題の国際的な広がり、大震災など自然災害への対応をはじめ、長引く経済の停滞、人口構造の変化、情報化・グローバル化の著しい進展、産業構造、雇用形態の変化等、多様化・複雑化した先の見えない課題を抱え、その将来の見通しは依然として不透明です。

特に、グローバル化は社会・経済・文化などあらゆる領域で急速に進んでおり、産業界にとってこうした課題に対応できる人材の確保は焦眉の課題となっています。

北九州市立大学は、開学当初からの理念を継承しつつ、新しい時代の要請に 대응していきます。産業技術の蓄積、アジアとの交流の歴史、環境問題への取組などの北九州地域の特性を活かし、開拓者精神に溢れ社会貢献への意識が高い人材の育成、高度で国際的な学術研究拠点の形成、地域の文化、社会、産業の発展と魅力の創出、アジアをはじめとする世界の人類と社会の発展への貢献を教職員、学生が一体となって目指していきます。

平成 28 年には創立 70 周年を迎えます。これを機に、さらに将来を見据え、「地域」「環境」「世界(地球)」の 3 つをキーコンセプトとして、自らの力で時代のニーズに応えていきます。

※北方キャンパス
外国語学部・経済学部・文学部・法学部・地域創生学群・法学研究科・社会システム研究科・マネジメント研究科
ひびきのキャンパス
国際環境工学部・国際環境工学研究科



北九州の地にしっかりと根をはり、自らの力で、強くなやかに成長し続ける「木」をモチーフにシンボル化しました。人や地域とのつながりを大切に、わたしたちが生きていく上で欠かせない環境・世界（地球）の豊かな未来へ向かって、希望を胸に自らの道を切り拓いていく強い意志を表現しました。

未来の木をつくる、この地から

北九州から、世界へ、そして活力ある未来へ
持続可能な社会の創造

北九州市立大学は、平成 28 年（2016 年）に創立 70 周年を迎えます。

このたび、誕生した本学のビジョンロゴマークは、
3つのキーワード「地域」、「環境」、「世界（地球）」との共生をイメージしたものです。

強い意志と希望を持って、地域と共に発展し、
世界（地球）の持続可能な社会、豊かな未来に向かって、「知の創造」を目指します。

地域と歩む

自ら地域にかかわり、
地域の力を集め、
地域社会の発展と豊かな
未来を築く

環境を育む

環境都市「北九州市」の
一員として、エネルギー・
公害問題克服・生命など
世界に誇る持続可能な環境
共生社会の実現に貢献する

世界（地球）とつながる

時代の先を見据え、
世界（地球）を視野に
開拓者精神を持って
力強く羽ばたく

自ら地域とかかわり、地域の力を集め、 地域社会の発展と豊かな未来を築く

北九州市立大学は、公立大学として、これまで地域社会に根ざし、地域の人々や産業と共に歩んできました。

わたしたちは、地域と共に発展する大学としての役割を自覚し、地域貢献を使命とし、社会・市民に開かれ、身近で信頼される存在を目指しています。

そして、地域をキャンパスとし、そこに住む人々や社会との関わりのなかで、実践的フィールドワークを通して、地域社会のために活躍できる、次世代の人材育成に積極的に取り組んでいきます。

最近の主な取り組み

- 平成 21 年 4 月 地域創生学群を開設
オフキャンパスでの実践的フィールドワークを特色とする学部を開設
一般選抜試験は 10 倍を超え、就職決定率は 100% (平成 25 年度実績 / 全学就職決定率 96%)
- 平成 22 年 4 月 地域共生教育センターを設置
すべての学生が参加できる全学組織として設置、東日本大震災関連プロジェクト (平成 23 年～) など、地域・大学・企業が一つになった地域社会における実践活動・人材育成 (登録者数 1,147 人 / 平成 26 年 3 月時点)
- 平成 23 年 4 月 地域ものづくり交流センターを設置
ひびきのキャンパスにおいて、学生の職業観、基礎知識の確認と深化、企画力・指導力などの就業力を培うことを目的として開設。
学生が派遣準備や派遣先との調整などを行うなどして、小学校アフタースクールや教育ボランティア等を実施。
(登録者数 76 人 / 平成 26 年 3 月時点)
- 平成 24 年 9 月 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択 (平成 24 ～ 28 年度)
まちなか ESD センターを核としたまちづくり。ESD をテーマに、小倉都心部の商店街にスペースを設け、市内 10 大学が連携・協力した実践的人材育成 (登録者数 学生 464 人、社会人等 363 人 / 平成 26 年 3 月時点)
「まなびとプロジェクト」、「まなびと講座」など、24 のプロジェクトを実施 (平成 25 年度実績)

※日経グローバル「全国大学の地域貢献度ランキング」第 1 位 (平成 20 年、23 年の 2 度獲得)

※学生の活躍 (平成 25 年度学生表彰)

- ①【個人受賞】国際環境工学部森田研究室に所属する大学院生による、大学初ブランド酒「ひびきのの杜」の開発
「大学オリジナルの麹菌」×「地元酒造会社」×「市内産酒造用米」を組み合わせ、地元の力を結集
- ②【団体受賞】北九州市立桜丘小学校が取り組む「学校支援地域本部事業におけるスクールボランティア」として活躍



環境都市「北九州市」の一員として、
エネルギー・公害問題克服・生命など
世界に誇る持続可能な環境共生社会の実現に貢献する

北九州市立大学は、環境都市のリーダーを目指す北九州市と、
恵まれた産学連携環境を背景に、生命美あふれる環境共生社会の実現に向けて、
特色ある教育・研究開発を実施しています。

平成 23 年 12 月、北九州市は公害や高齢化など日本が直面する課題に他都市に先駆け
取り組み、国から「環境未来都市」として選定されました。

わたしたちは、環境分野における先進的研究・技術開発と、産学協同活動を推進し、
地域や世界への成果の還元に取り組んでいます。

そして、国内外の人材育成に力を入れ、地域から日本産業や国際社会へと
幅広く貢献していきます。

最近の主な取り組み

- 平成 21 年 7 月 文部科学省「戦略的環境リーダー育成拠点形成事業」採択（平成 21～25 年度）
アジア諸国等から大学院に人材を受け入れ、環境問題の解決に向けた「環境リーダー」を育成
- 平成 22 年 6 月 JST・JICA「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム」を推進（平成 22～26 年度）
タイのチュロンコン大学と連携し、「新バイオディーゼルの合成法の開発」を推進
- 平成 24 年 3 月 環境技術研究所を設置
環境・エネルギー・社会システム・エレクトロニクス・情報分野、災害対策や復興対策に関する技術開発等
- 平成 25 年 4 月 環境 ESD プログラム（持続可能な開発のための教育）を開講
北方キャンパスにおいて、学部横断の副専攻として開設。「北九州学（環境都市としての北九州）」を開講
平成 25 年度北九州市環境首都検定では本学の学生が個人部門・グループ部門で成績最優秀賞を受賞
- その他、環境・技術分野企業との連携・技術相談、海外進出後方支援、再生エネルギー研究、アジアにおける環境共同研究など

※学生の活躍（平成 25 年度主な受賞実績）

- ①日本建築学会九州支部 建築九州賞 研究新人賞受賞【題目】オフィスビルにおける自然換気及び機械空調の併用システムに関する研究
- ②日本環境共生学会 学会賞 奨励賞受賞【題目】中国における携帯電話廃棄量の推計とリサイクルに関する制度・参画者分析
- ③12th IAHH International Student Design Competition First Prize 受賞
【題目】都市における貧困層のための住宅（インドネシア・ジャカルタのスラム街を対象地域とした住宅のプランニング）



時代の先を見据え、世界(地球)を視野に
開拓者精神を持って力強く羽ばたく

北九州市立大学は、外国語、特に英語・中国語教育と開拓者精神を伝統とし、
この伝統のもとに、「外向き志向の世界に通用する人材」の育成を目指しています。

あらゆる分野でグローバル化が進み、世界的な競争と共生が進む現代社会の中で、
様々な異文化を受容し、多様性の中で生き抜く力が求められています。
地域の延長に世界はあります。

わたしたちは、世界を身近に感じられる環境の中で、語学力はもとより、
ダイバーシティ時代を生き抜く力、「チャレンジ精神」を養う教育に取り組んでいます。

そして、国内外問わず様々な人々との交流経験、グローバルな感覚や地球規模で
志向する意識を育みながら、コミュニケーション能力や課題発見・解決力といった
実践的な能力を身に着ける教育を推進し続けます。

最近の主な取り組み

- 平成 18 年 4 月 基盤教育センターを設置
全学組織として、語学・教養・情報教育を担う。到達度別・少人数教育による英語教育を充実
- 平成 19 年 4 月 学部学科再編
外国語学部ではスピーチやプレゼン学習、実践力育成、実践的英語の強化
- 平成 24 年 4 月 副専攻「Global Education Program」を開講
高度な英語能力、留学等の海外経験、インターンシップ、ディベート等を特色とする
北方キャンパス学部等横断のプログラム
- 平成 24 年 9 月 文部科学省「グローバル人材育成推進事業」採択(平成 24～28 年度)
1 年次から計画的に語学力や国際社会等を学べる「KGP(北九州グローバルバイオニア)プログラム」を開講
- その他、国際教育交流センターの機能充実、海外企業へのインターンシップ、留学制度の充実、海外大学・研究機関との
学術交流の拡大等

※世界の協定校 10 か国・1 地域の 27 大学・1 研究機関と協定を締結(平成 26 年 3 月時点)





北九州市立大学のある北九州市。
「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を
まちづくりの目標にかかげています。

私たちも、このまちの一員として、
北九州市が進める「人づくり」、「暮らしづくり」、
「産業づくり」、「都市づくり」に貢献しています。

そして、世界（地球）的視野で
希望に満ち、未来を生き抜くための
「教育」と「研究」を探求し続けます。

平成 28 年には、北方キャンパスに
新図書館がオープンします。
学生と地域の人々が共に学べる
開かれた場が広がります。

これからも、市民にとって、学生にとって、教職員にとって、
地域の「身近な存在」、「誇りに思える」、「選ばれる大学」
への質的成長を目指します。

北九州市立大学の学部学科・大学院

北方キャンパス

<学部学科>

外国語学部 [241]

英米学科 / 中国学科 / 国際関係学科

経済学部 [284]

経済学科 / 経営情報学科

文学部 [222]

比較文化学科 / 人間関係学科

法学部 [253]

法律学科 / 政策科学科

地域創生学群 [90]

地域創生学類

<大学院>

法学研究科 [修士課程 10]

社会システム研究科 [博士前期課程 34 / 後期課程 8]

マネジメント研究科 [専門職学位課程 30]

ひびきのキャンパス

<学部学科>

国際環境工学部 [250]

エネルギー循環化学科 / 機械システム工学科

情報メディア工学科 / 建築デザイン学科

環境生命工学科

<大学院>

国際環境工学研究科 [博士前期課程 150 / 後期課程 16]

[入学定員]





公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

www.kitakyu-u.ac.jp

北方キャンパス
北九州市小倉南区北方 4-2-1 TEL 093-964-4195
ひびきのキャンパス
北九州市若松区ひびきの 1-1 TEL 093-695-3310